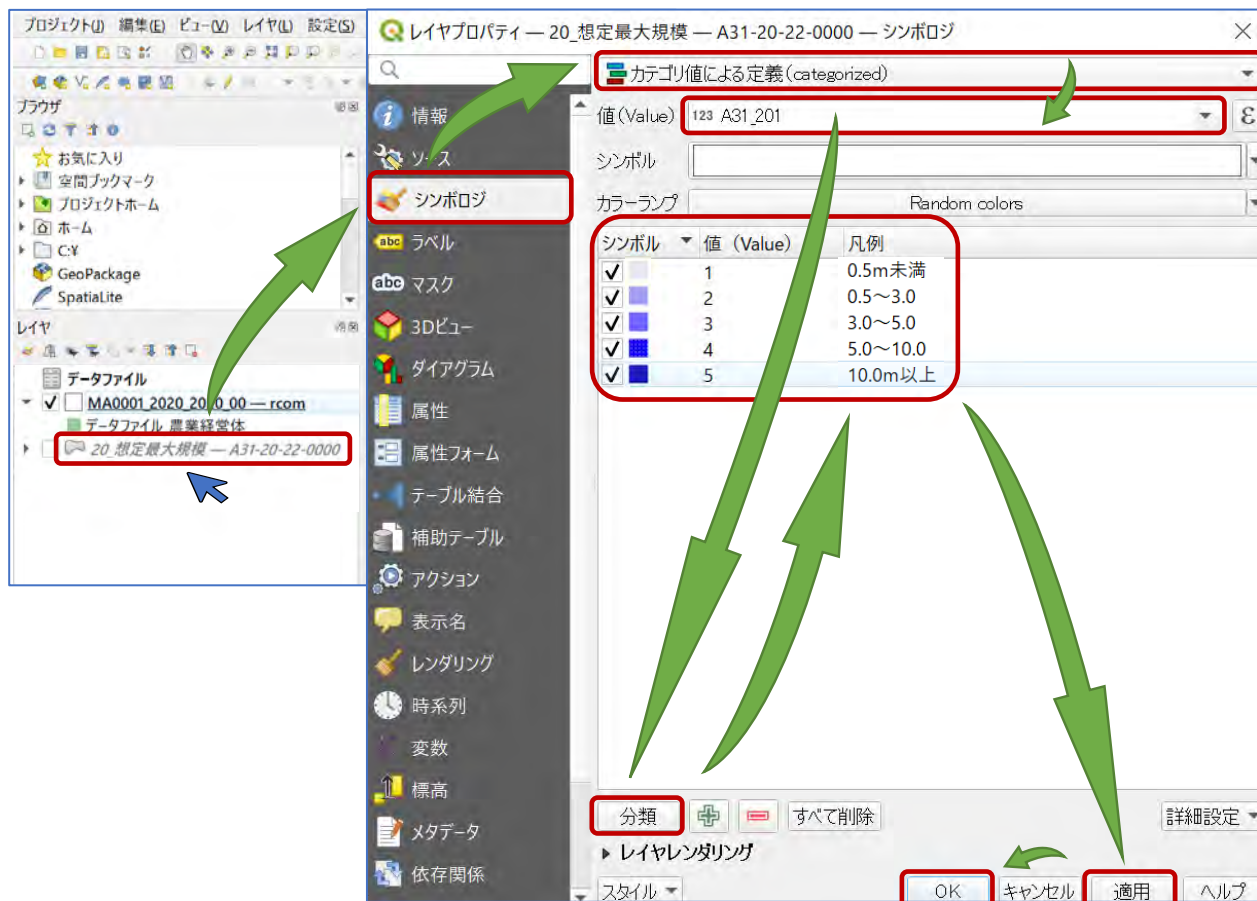
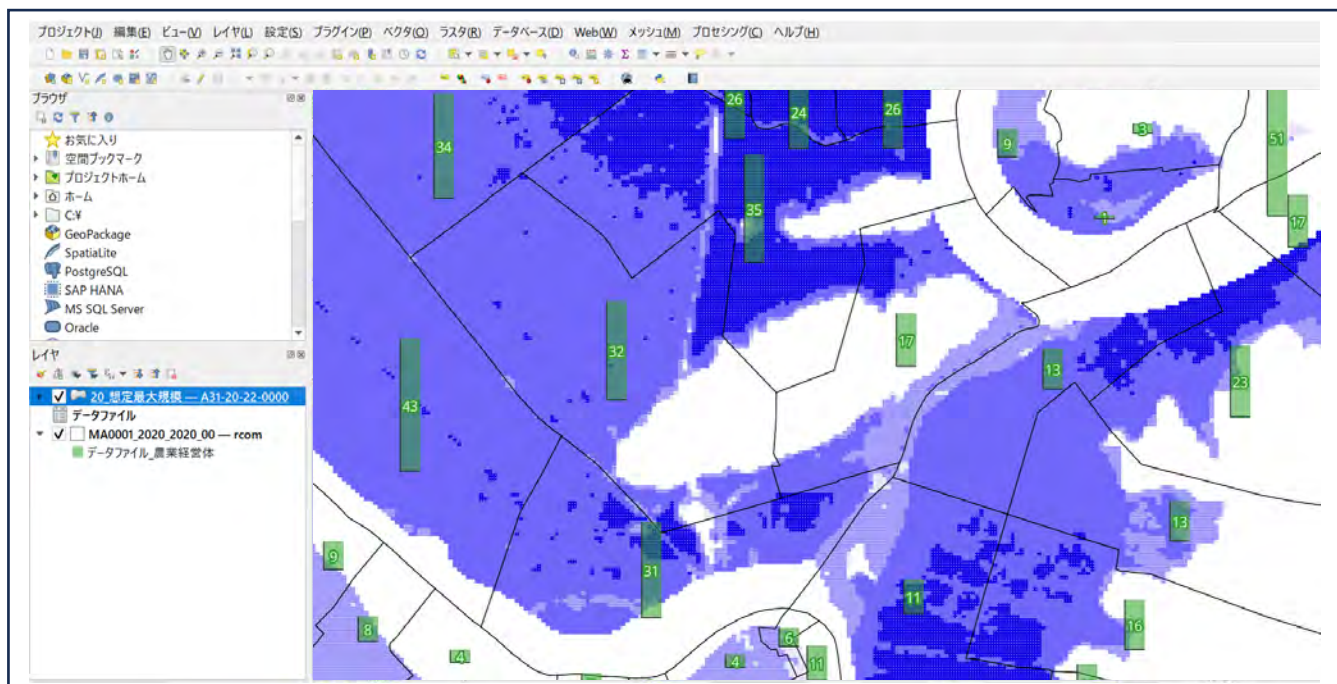


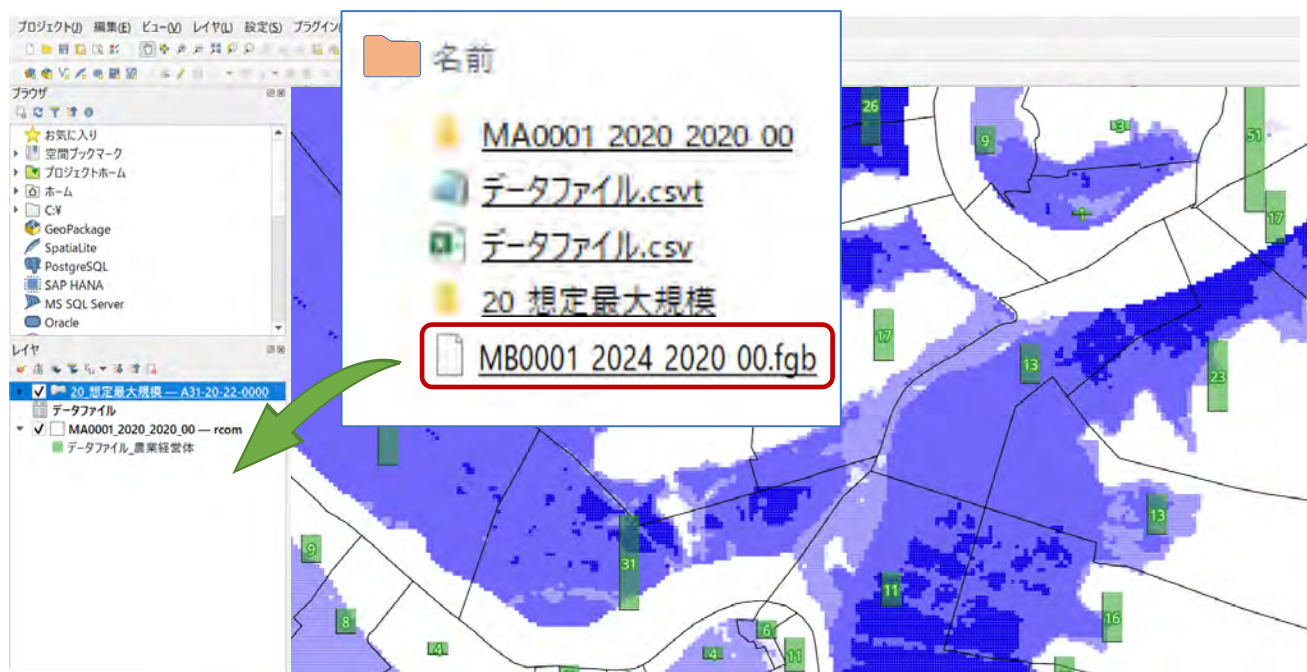
- 14 想定最大規模区分（カテゴリ値）ごとにシンボルの塗分け等を行います。
洪水浸水想定区域をダブルクリックして、レイヤプロパティを開きます。
レイヤプロパティで「シンボロジ」をクリックし「カテゴリ値による定義(categorized)」
を選択、値(Value)で「A31_201」を選択した後、各シンボル別の凡例の設定等を行います。
(詳しくはデータ利用の手引をご覧ください。)



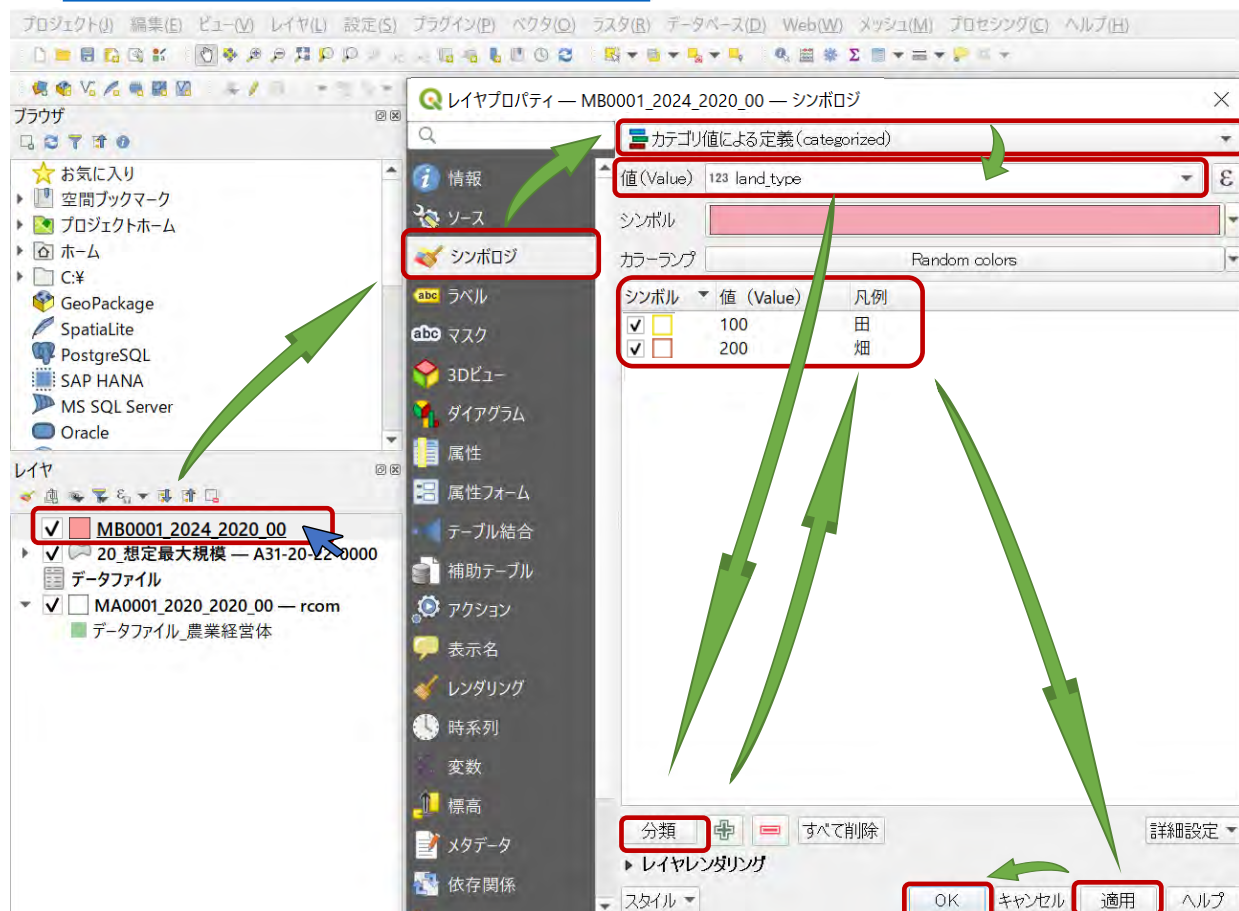
- 15 洪水浸水想定区域と農業経営体の状況ができました。



- 16 筆ポリゴンを地図に追加するために、当該データをレイヤパネルにドロップ&ドラッグします。

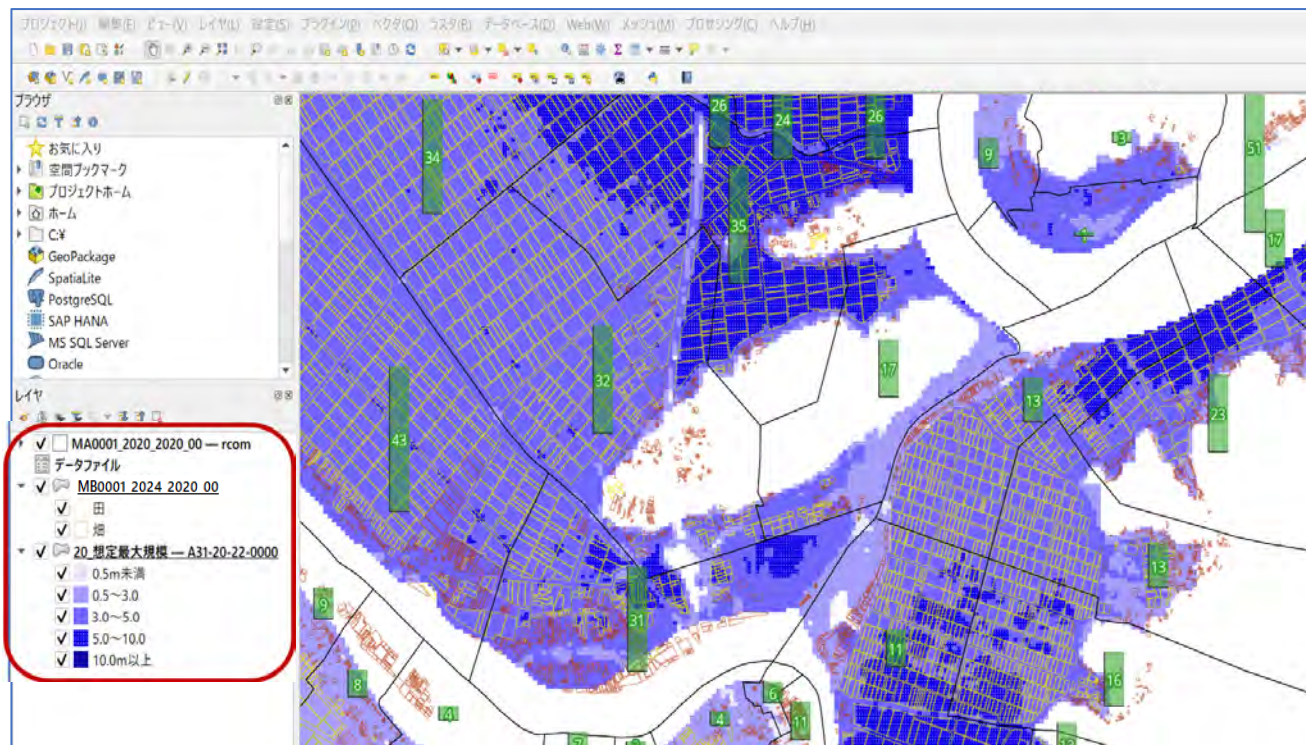


- 17 筆ポリゴンをダブルクリックして、レイヤプロパティを開きます。
レイヤプロパティで「シンボロジ」をクリックし「カテゴリ値による定義(categorized)」を選択、値(Value)で「land_type」を選択した後、各シンボル別の凡例の設定等を行います。
(詳しくはデータ利用の手引をご覧ください。)



- 18 レイヤパネル上の各レイヤの並び位置を上から、農業集落境界、筆ポリゴン、洪水浸水想定区域の順に整えます。

地図が完成しました。



- ・本紙に記述しているQGISの操作は、大まかな手順を記載しています。詳しくは、「[活かすDBの利用方法](#)」に掲載の「データ利用の手引」をご参照ください。